

■ミズーリ大学カンザスシティ校（UMKC）と単位互換協定を締結しました！

アメリカ中西部ミズーリ州のカンザスシティは、セントルイスとともにミズーリ州を代表する都市であり、倉敷市の姉妹都市の一つでもあります。この度、43年に亘る姉妹都市のつながりを活かし、カンザスシティにあるUMKCと本学は単位互換協定を締結し、本学の学生がUMKCにおいて、教育学関連の授業を受講するほか、地域の幼稚園や保育園で実地活動を行なう夏季幼児教育研修を実施するものとしました。5月29日には、UMKCの暫定教育学部長のクリス・ブラウン博士が来日され、倉敷市役所において伊東市長を立会人とし、本学の江島学長とブラウン暫定教育学部長との間で単位互換協定の調印を行ないました。調印式後、ブラウン博士は本学教員の案内で市内の竹中幼稚園を視察され、子どもたちと触れ合い、教員には幼児教育の指導方法などを尋ねられました。その後、ブラウン博士は本学を訪問され、学生によるコーラスの出迎えを受け、保育系の学生や保育学科教員とコミュニケーションを図り、本学に暖かい雰囲気を感じられたようです。なお、今夏実施されるはじめてのUMKCにおける幼児教育研修には、本学から教員1名が随行し、学生6名が参加する予定です。



※左からブラウン博士、伊東市長、江島学長



※右から安達学生部長、溝手保育学科長



※倉敷市中心部の竹中幼稚園を訪問



※園児に囲まれブラウン博士も楽しそう



※本学ファサードで学生のコーラスが出迎え